

調査結果の概要

■ 今年度の成果

- 全国及び各地域事業の成果の共有や比較が可能となるよう共通方針を策定
 - － 気候シナリオに関する共通方針，情報公開に関する共通方針
- 連絡会議を開催し，各事業の進捗管理及び情報共有を実施
 - － 第1回連絡会議（2017年8月27日），第2回連絡会議（2018年1月18日）
- 分野別ワーキンググループを開催

WG名称	開催日	開催目的
水産分野	2017年11月28日	水産分野の影響評価に関する知見を共有するとともに，海洋シナリオの利用方法を検討（講師：石川委員）
防災分野	2017年12月15日	最新の気候データおよびバイアス補正等の情報提供を行うとともに，影響評価の対象とする降雨イベントの設定に関する知見を共有（講師：佐々木委員，中北委員）
熱中症分野	2017年12月18日	各地域における熱中症に関する気候変動影響評価についての知見やアウトプットイメージを共有

■ 明らかとなった課題

- 対象とする項目のどのような現象の影響調査を行なうかを明確した上で，適切な気候シナリオ条件を設定の上，影響評価の実施に向けた知見の共有が必要である。

■ 来年度の調査計画

- 影響調査の実施に向けて，分野別ワーキンググループを開催し，知見の共有を行う。